

学校だより「すくすく くすのき」7月号より

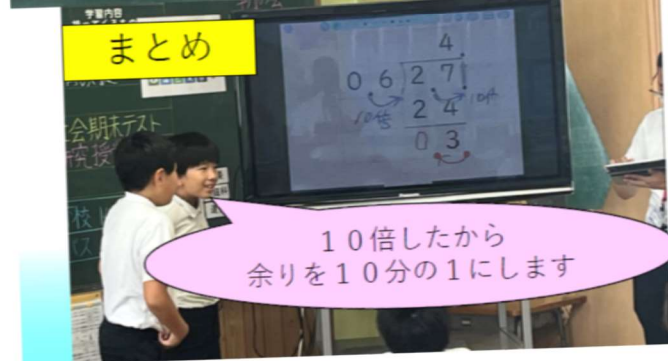
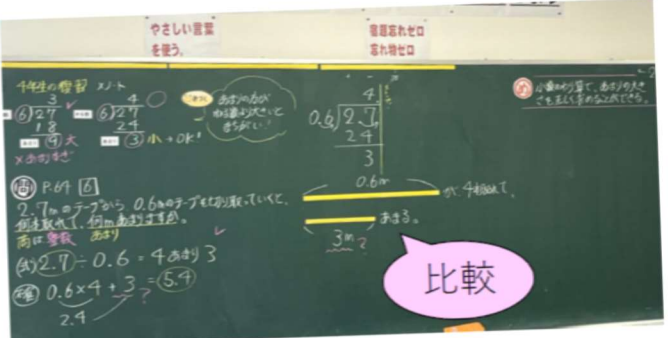
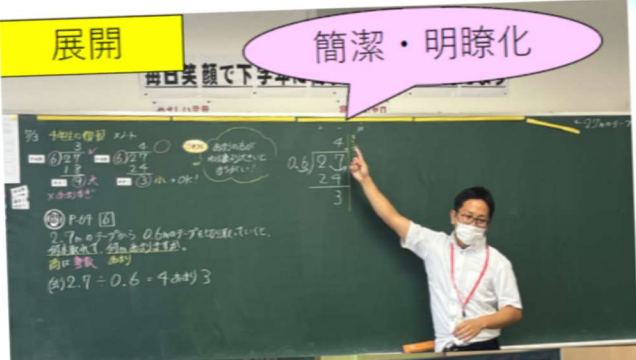
授業改善への取組

今年度の阿武小学校は、「学力向上に向けて、分かる、できる授業づくりを進める」ことを最重点の1つに掲げて取り組んでいます。7月3日には、本校の研修主任が授業改善に向けた方向性を基に授業研究を行いました。同日は山口県教育委員会、阿武町教育委員会から計4名の先生が来校され、成果と課題について指導助言を受けました。

PTA総会でもお知らせしたとおり、11月21日には近隣の学校に呼びかけて「授業力向上実践研究指定校」の授業公開を行う予定です。



導入
除数×商+余り=被除数



*上の写真等は、山口県教育庁義務教育課 主査の指導資料より抜粋

最重点取組 ～子どもたちの学力を向上させるために～

子どもたちが『勉強に対して、今よりも前向きになれる』…

このことをねらって、5・6年生が、学校運営協議会委員の方、くすのきボランティアの方といっしょに「熟議」をしました。「熟議」とは、多くの当事者が「熟慮」と「討議」を重ねて課題解決をめざす対話のことで、いろいろな人が集まって、それぞれの立場から話し合い、よりよくしていく活動のことです。これまで学校では大人だけで行うことが多かったのですが、近年、学校の主役であり当事者である子どもたちが「自分事」として考えるきっかけとするため、子ども参加型の「熟議」が増えてきています。



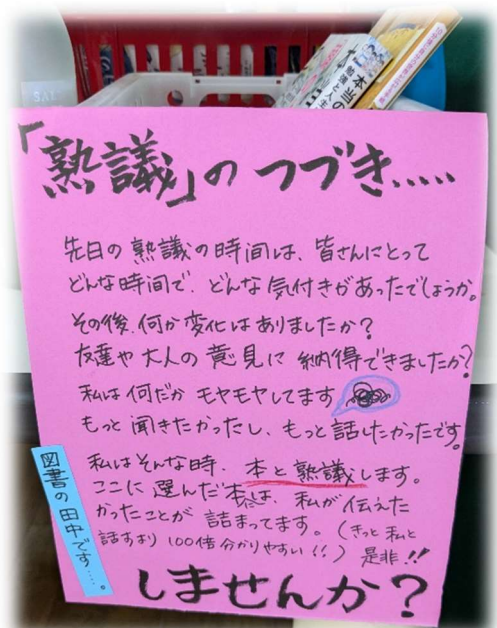
本校では、今年度「学力向上」を最重点取組の1つとして全校体制で授業改善などに力強く取り組んでいます。また、PTAの活動方針でも「学ぶ楽しさを 家庭学習の習慣で確かな力に」とうたい、大人の側は本気になっています。しかし、当事者である子どもたちはどう考えているのでしょうか。

この日の5・6年生は、将来のことを思い描きながら、今の勉強が何につながっていくのか、ほんのちよっぴりですが、みんなといっしょに自分事として「熟議」をしようとする

姿が見られました。すぐに改善！とはいきません。初めの一步です。これからスモールステップでいいので、少しでも勉強に対して、今よりも前向きになり、「たのしさ」と「やさしさ」あふれる阿武小学校をともにつくってほしいと願っています。

そんな折、熟議に参加したくすのきボランティアでもある本校の図書支援員が、そと5・6年生の教室前に、数冊の本とともに右のようなメッセージを寄せてくれました・・・まだまだ、「つづく」です。

- きづく
- きめる
- かかわる
- やりぬく



最重点取組1 ～子どもたちの学力を向上させるために～ つづきの話

5・6年生が、学校運営協議会委員の方、くすのきボランティアの方と
いっしょに「熟議」をしたことは、第7号（10月）でお知らせしまし
たが、そのときの振り返りを、今、理科室前に掲示しています。これ
から勉強に向かっていく上で最も大切だと思うキーワードをグルー
プごとに話し合いながら、あらためて、当事者である子どもたち自
身が、**学習に対する自分の心構えを“決めて”、一点突破で“やりぬこう”**と
しています。



たくさんのキーワードが掲げられました。

自ら立ち上がることで、子どもたちは必ず変わります。
5・6年生のがんばる姿を全校に波及させながら、
そんな子どもたちに、我々教師も全力で応えなければ
なりません。

10月16日には、山口県の学力定着状況確認問題に挑みました。
このテストは、1人1台タブレット端末を活用してネット上の問題を
解くCBT（computer based testing）の方法で実施されました。
本校は、4月に行われた全国学力・学習状況調査の結果から、算
数科の定着に課題が見られます。積み上げの学習でもあることから、
今回の結果をもとにこれからの対策を練り、全校体制で学力向上を進
めていきます。

